



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！

7/8



幕別陸上少年団・Spo-RE札内陸上クラブ

小学生陸上選手 全道大会へ

6月に行われた北海道小学生陸上競技大会(帯広会場)を勝ち抜き、全道大会に出場する子どもたちが教育委員会を訪れました。

幕別陸上少年団の武田梨瑚さん(幕別小6年)は「全員が自己新記録を出せるよう全力で頑張る」、Spo-RE札内陸上クラブの大野朝陽さん(池田小6年)は「去年は悔しい結果だった。悔いのないよう戦いたい」と両チームの主将が菅野教育長に抱負を話しました。

7/7



忠類地域高齢者スポーツ大会

生き生きとスポーツで交流

忠類体育館で3年ぶりに忠類地域高齢者スポーツ大会を開催。亀チームと鶴チームに分かれ、競技を楽しみました。

ボールを2本の棒に乗せてリレーする「ボール運び」や「玉入れ」など、抜群のチームワークで競い合い、鶴チームが勝利しました。



6/22



中札内高等養護学校幕別分校

役場庁舎周りの美化に貢献

中札内高等養護学校幕別分校の3年生が、役場庁舎外周の花壇の草取りやプランターの設置など、環境整備を行いました。

校舎からリヤカーで運んできたプランターには、手作りのプレート付き。正面玄関横に設置し、彩り豊かにしてくれました。



6/19



パークゴルフ国際大会

発祥の地で広げる交流の輪

北海道知事杯第36回パークゴルフ国際大会がつづきコース・サーモンコースで行われました。

3年ぶりとなった今回、残念ながら海外からの参加は叶いませんでしたが、国内の愛好家166人がパークゴルフ発祥の地に集い、交流の輪を広げました。



7/19



左から飯田町長、川村 羽海さん(1年)、澤向 美樹さん(同)、伊藤 胡晴さん(3年)、菅野教育長

幕別清陵高校

弁論・陸上競技の活躍を報告

伊藤胡晴さんは、2年生だった1月に「第36回「北方領土を考える」高校生弁論大会」に出場し、最優秀賞(外務大臣賞)を受賞。7月15日に内閣総理大臣・外務副大臣を表敬訪問したことを報告しました。

川村羽海さん・澤向美樹さんは、インターハイ出場権獲得を報告。川村さん(女子円盤投げ)は「上位8位に残りたい」、澤向さん(女子走り高跳び)は「来年以降は専門のハンマー投げで出場を」と話しました。

7/18



まくべつ夏フェスタ2022

夏の夜空に3,000発の花火

幕別運動公園特設会場を舞台に3年ぶりとなる「まくべつ夏フェスタ」が開催されました。荒天のため17日から延期し、残念ながら出店やアトラクションは中止。花火大会のみの実施となりました。

夕方になると、会場は花火を楽しみに訪れた観客でいっぱい。夜空を見上げ、久しぶりの夏の風物詩を思い思いに堪能しました。

7/3



幕別町消防団

十勝を代表して消防操法訓練大会へ

幕別町消防団第1分団から、5人の団員が北海道消防操法訓練大会(7月15日・江別市)に出場しました。道大会が目前に迫ったこの日、札内支署で激励会が行われ、団員は訓練の様子を披露しました。

道大会には全道各地から11の消防団が出場。僅差で入賞には手が届かなかったものの、ホースの連結・放水など、みなさんが安心して暮らせるよう日々励んでいる訓練を十勝の代表として実演しました。

7/2



シーニックカフェちゅうるい

音楽とともに優雅にオープン

この日から今季のシーニックカフェちゅうるいの営業が始まり、初日は地元で活動している3組の演奏家によるオープンコンサートが開催されました。訪れた人は、入れたてのコーヒを飲みながら、標高

189mから見渡す雄大な景色と音楽を楽しみました。





▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

国防環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆自分ができる省エネ行動に取り組もう！

毎年8月1日は「夏の省エネ総点検の日」です。これは、平成2年に資源エネルギー庁が定めた日で、電力需要が増大する夏場に向け、省エネを喚起するための日です。みなさんができる省エネ活動を紹介しますので、一つでも多くの活動に取り組んでください。

また、省エネ活動は『ゼロカーボン北海道』の実現に向けても重要なものであり、北海道が策定する「北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）」の二酸化炭素排出削減の目標値の一つに、「省エネ効果で1,113万t-CO₂の削減」があります。一人ひとりの省エネ活動の積み重ねが大きな効果となりますので、協力をお願いします。

省エネ→節約で、地球にもお財布にも優しい生活に行動変容を！



（十勝総合振興局のチラシより）
※二酸化炭素削減量は、経済産業省北海道経済産業局「実践！おうちで省エネ」を参考に算出されています。
※削減量・金額はさまざまな条件により変動するため、あくまでも目安となっています。

テーマ 家族で備える

災害が起こったときの 家族の約束事を決めておこう！

国防環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)

もしもに備えよう

防災ナビ

災害はいつ起こるか分かりません。外出時など、家族が離れ離れのときに災害が起きた場合、安否確認をしようにも携帯電話が繋がりにくい状況となります。

いざというときにはどのような行動をとるのか、家族で約束事を決めておくことが大切です。

家族で防災の知識を身に付けよう

- 地震や大雨など、災害の種類ごとにどのような危険性があるのか、どのように危険を回避するのかなど、家族一人ひとりが災害に対する知識を身に付けましょう。
- テレビ、ラジオ、防災行政無線、防災情報メール、幕別町防災公式 LINE、幕別町ホームページなど、情報収集の手段を確認するとともに、各種防災情報がどのような情報なのかを知っておきましょう。

家族で約束事を決めよう

- 地震発生時の身の安全の確保、避難口の確保、出火防止や初期消火など、とるべき行動を確認するとともに、家族の役割分担を決めましょう。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておきましょう。
- 水害時には、どのタイミングで避難するのか（警戒レベル3「高齢者等避難」の発令で避難するなど）、どこに避難するのか（指定避難所に避難、安全な親戚や友人宅へ避難など）を事前に家族で話し合い、決めておきましょう。



- 災害伝言ダイヤルや携帯電話各社の災害用伝言板など、普段利用しないサービスについて、使い方を確認しておきましょう。
- 隣近所との普段の付き合いを大切にするなど、災害が起こった際の地域の協力体制を家族みんなで作りましょう。
- 備蓄品について、家族に必要なものを話し合い、事前に用意しておきましょう。

家族で「防災のしおり」を確認しよう

- 自分の住んでいる地域の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。
- 避難経路や避難場所などを確認しましょう。
- コロナ禍の避難方法として「分散避難」を検討しましょう。
- 「防災のしおり」は誰でも、いつでも、すぐに見ることができるように保管場所を決めておきましょう。



touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶防災情報メール

QRコードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、ご登録ください。



▶幕別町防災公式LINE

QRコードを読み込み、「友だちに追加」でご登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu